

あぐれむ

(株)ふるさと葬祭アグレム広報誌

平成26年3月3日発行

発行／(株)ふるさと葬祭アグレム(事務所)

横手市大雄字本庄道北堰間13

TEL.0182-52-3930

FAX.0182-52-3931

ホームページ

www.ja-sousai.co.jp/furusato

雛祭り

雛祭りは「桃の節句」とも言われ、平安時代には、厄を人形に移して祓った「流し雛」の風習がありました。江戸時代になり女子の「人形遊び」と「節句の儀式」と結びつき、それらが発展し、雛人形を飾り女の子の健やかな成長と幸せを願う現在の「雛祭り」となりました。

配置も時代により変化していきます。壇上の内裏雛(だいらびな)は宮中の並び方を人形で模すことがあります。明治天皇の時代までは左が高位という伝統があった為、天皇である帝は左に立ちました。しかし、文明開化によって日本も西洋化し、その後に最初の即位式を挙げた大正天皇が右に立った為、以降から皇室の伝統になり、近代になってから昭和天皇は何時も右に立ち香淳皇后は左に並ぶようになりました。

それにならい、多くの地域では男雛を右(向かって左)に配置するようになりました。

雛祭りは3月3日ですが、立春(2月4日)の頃から、2月中旬まで飾るものとされています。家族の願いを込め、白酒や桃の花を供えてお祝いし、大安日を選んで飾るのが良いでしょう。

また「雛祭りが終わった後、片付けが遅れると結婚が遅れる」とよく耳にします。これは「片付けをせず、いつまでもだらしくしていると嫁の貰い手も現れなくなるので、季節の節でけじめを付けて片付けをする」という雛の意味から作られた俗説とされています。3月中旬の晴れの日を選び、人形が嫌う湿気の少ない場所に仕舞いましょう。

時代が変わり、昔からの風習が失われつつある現代にあって、今なお受け継がれている雛祭り。子供たちの末永い健康と幸せを願わずにはられません。

よこての お寺巡り

第8回

今回は横手市前郷の
浄光寺にご協力いただき
お話を伺いました。



羽場山 浄光寺 本堂



浄光寺二十六代
住職 橋本昭恵
昭和三十年八月二十五日生
龍谷大学真宗学専攻卒

大切な家族との別れ……そんな時、心の拠り処は菩提寺です。菩提寺様のお導きで大切な人を送る……そのお手伝いをさせていただく私達アグレムが、横手地区のお寺様にちよつと気になる事をインタビューして参りました。

——亡くなった後すぐ読むお経を枕経とか言いますが、どんな意味があるのでしょうか？

死は人生において最も厳粛な事実で、今そのときに読経することを浄土真宗では臨終勤行といっています。私達の宗派において臨終勤行は亡くなられた方への引導を授けるということではなく、これまで念仏をよろこんでこられた生活の一つのまとめ、さらに臨終にのぞみご縁のあった方々、共々念仏を通してひとつになれる世界を思念することの勤行であります。

——通夜にローソクの火は絶やしてはいけないと云われますが、どうしてでしょうか？

宗教、宗派、地方によっていろ

いろ習俗が違ってきます。たとえば中陰中、火種を他からもらえない、亡くなられた人々がさみしがらから、亡くなられた人が無事に仏の世界へいけるように足元を照らすなどです。私達の宗派で灯明は、み仏の智慧と慈悲の光をたたえたものといわれています。通夜は読んで字のごとく、夜を通すことですからお身内の方が付き添ってくれているのであれば灯明を灯して頂ければよいでしょう。

——仏事の際、焼香しますが、その作法を教えてください。

浄土真宗本願寺派の焼香の作法は

一、焼香卓の二、三步前で一礼し
二、前に進んで右手で香をつまみ

三、そのまま香品にくべ
四、合掌礼拝し
五、二、三步下がって一礼し
六、席に戻る
つまんだ香は額におしいただかず、一回くべます。



秋田県JA葬祭グループ
全県統一人形供養祭
を開催

日頃の感謝の気持ちをこめて、平成25年9月23日 秋田県JA葬祭グループ全県統一人形供養祭を開催いたしました。



毎年、回を重ねるごとに会場、ご参加くださる方も増え、今年は600名を超える参加者でたいへん賑わい、式場祭壇には数千体の人形・ぬいぐるみが飾られました。

ご祈祷開始までは、施設内の見学や限定100名様の方ラワーアレンジ体験会、縁日コーナー、屋外では横手やきそば・カレーライス・フランクフルト・玉こんになどの軽食を無料で楽しんでいただきました。



今回は横手市 榮神社・神原神官に人形供養のご祈祷をしていただき、大切な人形・ぬいぐるみとのお別れが、しめやかに執り行われました。



ご祈祷終了後は恒例の、空くじなし大抽選会を行い、大盛況のもと人形供養祭を終えることができました。

JA秋田ふるさと女性部
女性リーダー

研修会を開催

昨年、11月13日、JA秋田ふるさと女性部リーダー研修会が、虹のホールアグリウム（よこて）にて開催されました。当社1級葬祭ディレクター 高橋和

子を講師に「知って得する葬祭マナー」と題して、葬儀における基礎知識やマナーについて学んで頂きました。

参列時の服装や身だしなみ、のし袋の選び方や表書き、また宗派や宗教に合わせたお別れの作法（焼香、献花、玉串奉奠）お悔みの言葉など。

わかっているようでも、いざとなると…という葬祭マナーを幅広く丁寧に解説いたしました。

普段はなかなか接する事のない葬儀の知識を身に付ける有意義な研修会となりました。



葬儀に関する不安や悩みはございませんか？ お葬式・法要の**無料事前相談**実施中

葬儀の事が
何もわからない

葬儀の準備には
何が必要なの？

故人の想いを
実現するには？

葬儀の費用って
実際いくら必要なの？

ご家庭の精神的・経済的な負担を軽減したり、少しでも安心して頂くために、どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。

訪問相談も承っております。
手順はとても簡単です。

- ①まずは52-3930までお電話ください。
- ②「訪問相談希望です」とお伝えください。
※訪問日時を決めます。
- ③お約束の日時にスタッフが伺います。



私共、(株)ふるさと葬祭アグレムでは、葬儀を施行された方々へ終了後「ご意見承り書」を送付しご意見・ご要望などをアンケート形式で伺っております。ご返送頂いた中から有難いお言葉を少しご紹介させていただきます。

事前相談で電話しましたところ社員がすぐきてくれて本当に助かりました。
不行き届き点等ございませんでした。
ありがとうございました。

何もわからなかった私達家族を大変親身になって対応して頂いた事に感謝しております。
ありがとうございました。

知ってる社員の方がいましたので遠慮なく聞く事ができ安心して葬儀ができました。
「みどりの会」に入っておりましたので割引があり大変助かりました。

あなたの想いを大切なあの人の名前にのせて…
詩のまえ



100人いれば100通りある『思い』…
そんな「思い」にお応えするために

アグレムからのご提案

虹のホールにおいて葬儀を行い施行される方々へ、会葬者へのお礼のメッセージを作成しておりますが、新たに故人様のお名前とお人柄を織り込んで詠んだこの世でひとつだけの詩もご提案させて頂いております。

ご希望があれば、ご親族皆様にも焼増しできますのでご用命の際は担当者にお伝えください。



虹のホール **アグレム**

〒013-0069
横手市三枚橋一丁目6-10
TEL.0182-36-3930
FAX.0182-36-3931



虹のホール **アグレム**

おものがわ

〒013-0208
横手市雄物川町沼館字稲荷前62
TEL.0182-56-2630
FAX.0182-23-1220

提案します。安心・まごころ葬儀

(株)ふるさと葬祭 アグレム

〒013-0345 横手市大雄字本庄道北堰間13
TEL.0182-52-3930 / FAX.0182-52-3931

24時間
受付

年中
無休

フリーダイヤル

0120-87-2630

Information

会員の皆様

**年忌にあたって
いませんか？**

ふるさと葬祭アグレムでは葬儀後一周忌にあわせて封書にてご案内をさせていただいております。ご利用割引券など同封しておりますので、お気軽にご連絡ください。

ご意見ご感想

この広報誌についてのご意見ご感想、掲載してほしいことなどございましたら

(株)ふるさと葬祭アグレム<担当・杉田>まで

**パートタイマー
随時募集中**

業務内容 > 新規会員募集
詳しくはふるさと葬祭アグレム
(TEL.0182-52-3930)
までお問い合わせ下さい。